



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー

コード番号 3093 URL <http://www.treasurefactory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野坂 英吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 小林 英治

TEL 03-3880-8822

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,759	13.9	271	38.9	276	27.9	154	68.5
24年2月期第2四半期	3,299	11.6	195	39.8	216	52.3	91	13.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	56.36	55.51
24年2月期第2四半期	33.66	33.15

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,258	56.5	1,840	56.5		
24年2月期	3,281	52.5	1,722	52.5		

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 1,840百万円 24年2月期 1,722百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,231	14.2	611	7.1	617	3.7	339	14.7	123.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	2,751,400 株	24年2月期	2,731,000 株
25年2月期2Q	22 株	24年2月期	— 株
25年2月期2Q	2,738,602 株	24年2月期2Q	2,721,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
2. 平成24年6月及び8月に新株予約権の行使による新株発行により発行済株式総数が20,400株増加しております。「平成25年2月期の通期業績」の1株当たり予想当期純利益の算出につきましては、当該増加分を含めて計算した予想期中平均株式数の2,744,937株によっております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 仕入実績 .....	9
(2) 販売実績 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にあります。欧州債務問題に端を発した海外景気の減速や円高の長期化など景気の下振れ要因もあり、依然として先行き不透明な状況にあります。個人消費につきましても、所得の伸び悩みや増税への懸念から、依然として厳しい環境にあります。

当社は、このような経営環境の中、継続的な年間2桁出店という目標の実現に向け、既存店の収益力強化を図りつつ、総合リユース業態と服飾専門リユース業態の新規出店を進めてまいりました。

当第2四半期累計期間の全社売上高は、前年同期比13.9%増となりました。既存店(平成23年2月期末までに outlet した店舗、以下同じ)の売上高は、前年3月に東日本大震災の影響による売上減少があったこともあり、前年同期比4.6%増となりました。商品カテゴリー別の売上高では、引き続き衣料・服飾雑貨が好調に推移し、前年同期比34.3%増と最も大きな伸びとなりました。

仕入面においては、当期商品仕入高は全社で前年同期比12.5%増となりました。一般顧客からの仕入である一般買取は全社で前年同期比20.1%増、既存店でも前年同期比10.9%増となり、好調に推移しました。

買取・販売促進においては、ネット媒体を有効に活用した広告や当社オリジナルポイント「トレポ」を活用した施策により、新規顧客及びリピート顧客の増加に取組みました。

出店政策においては、総合リユース業態の「トレジャーファクトリー」は、FC店を福島県いわき市に1店、直営店を神奈川県大和市に1店出店しました。また、服飾専門リユース業態の「トレジャーファクトリースタイル」(直営)を千葉県八千代市、東京都調布市、東京都世田谷区に1店ずつ計3店出店しました。その結果、平成24年8月末現在では、直営店が「トレジャーファクトリー」43店、「トレジャーファクトリースタイル」16店の計59店、FC店が「トレジャーファクトリー」4店となり、合計店舗数63店体制となりました。

利益面では、全社の売上総利益率が66.8%と前年同期に比べ1.4%上昇し、既存店の売上総利益率は66.6%と前年同期に比べ0.6%上昇しました。売上総利益率の改善に加え、返品調整引当金戻入額などの影響により、差引売上総利益率は前年同期比1.9%上昇し、66.7%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、前年同期の費用抑制の反動による水道光熱費等の増加や新規出店による出店費用の増加から、販売費及び一般管理費比率が前年同期比0.6%上昇し、59.5%となりました。この結果、営業利益率は前年同期に比べ1.3%上昇し、7.2%となり、経常利益率は前年同期に比べ0.8%上昇し、7.4%となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高3,759,822千円(前年同期比13.9%増)、営業利益271,540千円(前年同期比38.9%増)、経常利益276,798千円(前年同期比27.9%増)、四半期純利益154,360千円(前年同期比68.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産合計は、商品が118,595千円増加したこと、現金及び預金が238,396千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して22,761千円減少し、3,258,851千円となりました。

当第2四半期会計期間末における負債合計は、未払法人税等が84,427千円減少したこと、長期借入金金が63,044千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して141,236千円減少し、1,418,210千円となりました。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益を154,360千円計上したこと等により、前事業年度末と比較して118,475千円増加し、1,840,641千円となりました。

## (キャッシュ・フローの分析)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ238,396千円減少し、550,107千円となりました。

また当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは7,828千円の収入(前年同四半期は149,259千円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益276,563千円、減価償却費67,990千円があった一方で、法人税等の支払額204,874千円、たな卸資産の増加額120,331千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは147,600千円の支出(前年同四半期は93,337千円の支出)となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出73,347千円、敷金及び保証金の差入による支出64,720千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは98,624千円の支出(前年同四半期は11,983千円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出81,347千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	801,910	563,513
売掛金	70,315	57,294
商品	818,698	937,293
その他	212,599	206,704
貸倒引当金	△721	—
流動資産合計	1,902,803	1,764,806
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	501,744	538,131
土地	141,555	141,555
その他(純額)	138,447	150,423
有形固定資産合計	781,747	830,110
無形固定資産		
	19,520	16,809
投資その他の資産		
敷金及び保証金	477,629	536,990
その他	99,913	110,134
投資その他の資産合計	577,542	647,124
固定資産合計	1,378,810	1,494,044
資産合計	3,281,613	3,258,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,771	12,113
短期借入金	281,000	300,200
1年内返済予定の長期借入金	148,901	130,598
未払法人税等	218,976	134,549
賞与引当金	101,014	103,936
返品調整引当金	14,653	17,255
ポイント引当金	26,502	28,213
その他	346,332	331,957
流動負債合計	1,153,153	1,058,825
固定負債		
長期借入金	242,624	179,580
リース債務	2,086	1,253
資産除去債務	161,583	178,551
固定負債合計	406,294	359,384
負債合計	1,559,447	1,418,210

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,343	363,893
資本剰余金	296,343	298,893
利益剰余金	1,064,478	1,177,873
自己株式	—	△20
株主資本合計	1,722,166	1,840,641
純資産合計	1,722,166	1,840,641
負債純資産合計	3,281,613	3,258,851

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	3,299,649	3,759,822
売上原価	1,140,047	1,248,119
売上総利益	2,159,602	2,511,702
返品調整引当金戻入額	—	14,653
返品調整引当金繰入額	20,558	17,255
差引売上総利益	2,139,043	2,509,101
販売費及び一般管理費	1,943,549	2,237,560
営業利益	195,494	271,540
営業外収益		
受取利息	61	77
自販機収入	5,701	6,012
助成金収入	17,235	—
その他	2,423	2,714
営業外収益合計	25,422	8,804
営業外費用		
支払利息	4,384	3,520
その他	198	26
営業外費用合計	4,583	3,546
経常利益	216,333	276,798
特別損失		
固定資産除却損	—	235
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,595	—
特別損失合計	39,595	235
税引前四半期純利益	176,738	276,563
法人税、住民税及び事業税	113,100	121,469
法人税等調整額	△27,978	734
法人税等合計	85,121	122,203
四半期純利益	91,617	154,360



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	176,738	276,563
減価償却費	64,893	67,990
のれん償却額	771	771
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,660	2,922
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△721
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△3,720	△3,648
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,354	1,711
返品調整引当金の増減額(△は減少)	20,558	2,601
受取利息及び受取配当金	△61	△77
支払利息	4,384	3,520
固定資産除却損	—	235
貸貸資産の取得による支出	△2,708	△6,686
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,595	—
売上債権の増減額(△は増加)	673	13,020
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75,948	△120,331
仕入債務の増減額(△は減少)	1,053	△3,658
未払金の増減額(△は減少)	△11,088	△29,996
その他	27,948	11,704
小計	256,082	215,924
利息及び配当金の受取額	62	77
利息の支払額	△4,186	△3,299
法人税等の支払額	△102,698	△204,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,259	7,828
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△55,774	△73,347
無形固定資産の取得による支出	△252	—
敷金及び保証金の差入による支出	△29,501	△64,720
敷金及び保証金の回収による収入	22	819
長期前払費用の取得による支出	△7,830	△10,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,337	△147,600
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36,800	19,200
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△97,187	△81,347
株式の発行による収入	—	5,100
自己株式の取得による支出	—	△20
配当金の支払額	△26,796	△40,724
その他	△833	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,983	△98,624
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,906	△238,396
現金及び現金同等物の期首残高	485,532	788,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	553,438	550,107

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社はリユース事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 仕入実績

当第2四半期累計期間の商品別仕入実績は、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)		
	仕入高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
生活雑貨	127,968	9.4	93.4
衣料・服飾雑貨	809,969	59.4	138.9
電化製品	230,003	16.9	75.6
家具	73,432	5.4	83.2
ホビー用品	70,017	5.1	107.1
その他	52,472	3.8	152.3
合計	1,363,863	100.0	112.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 販売実績

当第2四半期累計期間の商品別販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)		
		売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
直営事業	生活雑貨	389,581	10.4	93.6
	衣料・服飾雑貨	2,060,667	54.8	134.3
	電化製品	734,946	19.5	90.4
	家具	316,152	8.4	99.9
	ホビー用品	209,890	5.6	111.3
	その他	15,826	0.4	109.8
	小計	3,727,064	99.1	113.5
F C事業		14,274	0.4	161.1
その他事業		18,482	0.5	252.4
合計		3,759,822	100.0	113.9

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 F C事業は、商品販売、加盟料・指導料・ロイヤリティ等であります。